

平成 27 年度第 4 回
新巖木高校
設置準備委員会
(資料)

平成 28 年 1 月 7 日
佐賀県教育委員会

目次

	頁	
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第3回新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・	1
資料 2	校時表、教育課程検討状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
資料 3	地域連携検討状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
資料 4	教育相談・生徒指導体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
資料 5	施設・設備に係る検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
資料 6	教職員等配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
資料 7	選抜方法の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
資料 8	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
資料 9	新巖木高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
資料 10	新巖木高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・・・・・・・	33

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）

第3回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成27年 10月23日（金） 10時～11時30分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 12人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成27年 10月26日（月） 15時～16時30分 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成27年 10月27日（火） 10時～11時30分 塩田工業高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 9人 県教育委員会関係委員 7人
唐津地区 ・ 巖木高校	平成27年 10月27日（火） 15時～16時 （太良高校視察は、13：45～） 太良高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 8人
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 10月29日（木） 15時～16時30分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 7人

2 主な意見等

地区	主な意見等
杵島地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認 学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新学科を設置する案も資料には示されているが、ニーズがあるだろうか。学科等で特色を出すより、普通科と商業科の組合せが良いと思う。 ・ 普通科で基礎学力を身に付け、進学して専門性を身に付けるという考えでもいいのではないか。新高校の学科構成は、普通科120人、商業科80人を募集定員とするパターンがいいと考える。 ・ （新高校の学科等について）「中学生にアンケートをしてはどうか」という意見があったが、中学生にニーズを答えさせるのは難しいと思う。学科に関しては、大人が時代を見ながら決めてやるべきだと思うが、大学入試制度が変わったり、技術革新も進んだりする中、固定化した学科よりも、例えばコースにする等、柔軟性を持たせた方が良いのではないか。 ・ 医療・看護・介護分野へ進学する生徒が多い現状を踏まえると、そういった分野のコースを作ることも考えられると思う。

地区	主な意見等
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科と商業科を融合したような学科で、進学にも就職にも対応させるとか、文理学科のような学科で、文系にも理系にも対応させるようなことはできないか。 ・ 普通科と商業科を一括して募集し、2年次から学科ごとに分ける方が子ども達のニーズに合うのではないか。
伊万里地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認</p> <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に学科構成のパターンが複数示しており、農業科だと「生物生産科」、商業科だと「商業科」が必ず入っているが、それらが中心になると理解してよいか。 ・ 資料の学科パターンに新高校の学科の一つとして農業系とか商業系の融合学科というものが示されているが、具体的な構想を示してほしい。 ・ 生徒募集は農業科と商業科でくくり募集を行い、2年次からコース選択のような形を取るわけにはいかないのか。 ・ 新高校の募集定員は200人と決まっているが、これを5学級ではなく、6学級にすることはできないのか。 ・ 地方創生が議論される中、産業界からの声を聞くために、商工会議所や農協などの方に、この会に参加してもらってはどうか。
嬉野地区	<p>「めざす学校像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「地域社会に貢献できる人材を育成する学校」とあるが、「地域」を無くして、「社会貢献」とした方が広がりがある良いのではないか。 ・ 地域に必要とされる学校でなければならない。やはり「地域」は必要ではないか。 ・ 「めざす学校像」には「グローバル」より「国際化」の方がふさわしいのではないか。 <p>学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工業科の場合は、資格取得や専門の学習が大変になるので、1年生の時から専門的な勉強をさせた方がいい。 ・ 企業側としては、工業科の専門性は高い方が良い。総合学科は専門性の深い学習ができていないか疑問を持たれる。専門学科を残してほしい。 ・ 総合学科の福祉系列も、国家試験を取らせるために1年生から専門的な学習をさせている。他の総合学科を参考にして、工業の専門性についても工夫できるところがあるのではないか。 ・ 平成30年度を100人ずつで募集できないか。 ・ 小規模化していく中で、工業の小学科については、産業界の意見等も聞く必要があると思う。

地区	主な意見等
唐津地区	<p>「めざす学校像」について 事務局案のとおり承認 教育内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校時についての校内検討では、始業時間を変えないで、放課後の時間を確保するという案も出た。遅い校時の太良高校と違えることで、学校選択の判断材料のひとつとなるのではないか。 ・ 不登校経験や発達障害のある生徒も通学しやすいよう、太良高校のように始業時間を遅らせる案が良いのではないか。 ・ 巖木高校の場合、「地元の協力」という際、昔の巖木町であればわかりやすいが、今は唐津市ということもあり、「地域」「地元」のとらえ方が難しい。
鹿島地区	<p>「めざす学校像」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性格が異なる2つの高校を一緒にして、新たな学校づくりをするという方向で、それぞれの学校の良さをうまくつなげて「めざす学校像」を作っていると思う。 <p>事務局案のとおり承認 学科構成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通科と専門学科から40人ずつ減らすパターンが現実的と思う。ただ、どちらを先に減ずるにしても、理由の整理が必要である。 ・ 組合せは、普通科160人、商業科40人、食品調理科40人が良いのではないか。 ・ 平成30年度の40人の定員減を、普通科と専門学科から20人ずつの減とできないか。

校時表、教育課程検討状況

1 校時表

(1) 校時設定における考え方

- ・ 生徒の特性や、広域からの通学が可能となるような JR 等のダイヤを考慮して始業時間・終業時間を設定する
- ・ 多様な特性を持った生徒への配慮、及び遠方から通学する生徒にも、部活動等、十分な放課後の活動時間を確保するために、授業時間は45分とする
- ・ 平成30年度から、全校一斉に45分校時を導入する（高2、高3含む）

(2) 新巖木高校の校時表（案）

	45分授業
読書	～ 9:40
SHR	9:40 ～ 9:55
1校時	9:55 ～ 10:40
2校時	10:50 ～ 11:35
3校時	11:45 ～ 12:30
昼休み	12:30 ～ 13:15
4校時	13:15 ～ 14:00
掃除	14:00 ～ 14:15
5校時	14:15 ～ 15:00
6校時	15:10 ～ 15:55
SHR	15:55 ～

案1をベースに、掃除時間を4校時後に設定。

朝のHRを9:40～とすることで、佐賀方面の生徒は9:10着、唐津方面の生徒は9:27着のJRで登校することが可能となるため、登校時間を他校生がJRを利用する時間帯からずらすことができる。

帰りのHRが15:55～となるため、16:16発の上下線列車に間に合う。

〔 巖木高校は、ほぼ毎年高島からの生徒が入学してきており、16:16の唐津行JRを逃すと高島へ帰る船（最終18:00）に間に合わなくなる。（H27年度在籍者3人） 〕

< 巖木高校登下校時のJR線各駅発着時刻 >

登校時					下校時				
上り線					下り線				
	唐津(発)	6:51	7:33	8:56		巖木(発)	16:16	17:25	18:25
	巖木(着)	7:23	8:04	9:27		唐津(着)	16:44	17:52	18:55
下り線					上り線				
	鳥栖(発)	6:07	6:42	7:51		巖木(発)	16:16	16:53	17:25
	佐賀(着)	6:33	7:08	8:20		佐賀(着)	16:58	17:30	18:04
	佐賀(発)	6:41	7:43	8:21		佐賀(発)	17:06	17:45	18:45
	巖木(着)	7:23	8:23	9:10		鳥栖(着)	17:36	18:16	19:16

参考資料 1

第 3 回新巖木高校設置準備委員会における検討結果

(1) 第 3 回設置準備委員会における意見

- ・ 校内で検討したところ、現行の 45 分短縮授業の校時表がいいのではないかという意見も多かった。始業時間を遅らせると唐津から通学する生徒が、朝の到着後の時間を持て余してしまうし、放課後の時間の確保ができるので部活動の時間もとりやすい。太良高校と校時を違えることで、学校選択の判断材料の一つとなるのではないか。
- ・ 不登校経験や発達障害のある生徒の場合、駅や列車で昔の同級生に会うと不安になるので、太良高校の遅い始業時間だと安心して通学できると聞いている。時間はずらした方が良いと思う。
- ・ 唐津線は沿線にいろいろな高校があり、同じ時間帯の列車だと、トラブルが起こることも考えられるので遅らせた方が良いと思う。
- ・ 太良高校の校時を決めたときのポイントは、広域から生徒が通えることと、発達障害や不登校経験のある生徒に配慮することであった。
- ・ 佐賀市の不登校や発達障害のある生徒のサポートをされている NPO から、巖木高校は太良高校よりも近く、通いやすくなるだろうという期待の声も聞いている。
- ・ 朝の SHR は 15 分とする。

(2) 第 3 回設置準備委員会で示した校時表 (案)

【新巖木高校 校時表 (案 1)】

	45分授業
読書	～ 9:40
SHR	9:40 ～ 9:55
1校時	9:55 ～ 10:40
2校時	10:50 ～ 11:35
3校時	11:45 ～ 12:30
昼休み	12:30 ～ 13:15
4校時	13:15 ～ 14:00
5校時	14:10 ～ 14:55
6校時	15:05 ～ 15:50
掃除	15:50 ～ 16:05
SHR	16:05 ～

【新巖木高校 校時表 (案 2)】

	45分授業
読書	～ 9:45
SHR	9:45 ～ 10:00
1校時	10:05 ～ 10:50
2校時	11:00 ～ 11:45
3校時	11:55 ～ 12:40
昼休み	12:40 ～ 13:25
4校時	13:25 ～ 14:10
5校時	14:20 ～ 15:05
6校時	15:15 ～ 16:00
掃除	16:00 ～ 16:15
SHR	16:20 ～

【新巖木高校 校時表 (案 3)】

校時	45分授業
読書	～ 8:45
SHR	8:45 ～ 8:50
1校時	8:55 ～ 9:40
2校時	9:50 ～ 10:35
3校時	10:45 ～ 11:30
4校時	11:40 ～ 12:25
昼休み	12:25 ～ 13:10
掃除	13:10 ～ 13:25
5校時	13:30 ～ 14:15
6校時	14:25 ～ 15:10
SHR	15:10 ～

【新巖木高校 校時表 (案 4)】

校時	45分授業
読書	～ 9:30
SHR	9:30 ～ 9:45
1校時	9:45 ～ 10:30
2校時	10:40 ～ 11:25
3校時	11:35 ～ 12:20
昼休み	12:20 ～ 13:05
4校時	13:05 ～ 13:50
5校時	14:00 ～ 14:45
6校時	14:55 ～ 15:40
掃除	15:40 ～ 15:55
SHR	15:55 ～

参考資料2 現厳木高校、太良高校の校時表

厳木高校 校時表

	50分授業	45分授業
読書	8:35 ~ 8:45	8:35 ~ 8:45
SHR	8:45 ~ 8:50	8:45 ~ 8:50
1校時	8:55 ~ 9:45	8:55 ~ 9:40
2校時	9:55 ~ 10:45	9:50 ~ 10:35
3校時	10:55 ~ 11:45	10:45 ~ 11:30
4校時	11:55 ~ 12:45	11:40 ~ 12:25
昼休み	12:45 ~ 13:30	12:25 ~ 13:10
掃除	13:30 ~ 13:45	13:10 ~ 13:25
5校時	13:50 ~ 14:40	13:30 ~ 14:15
6校時	14:50 ~ 15:40	14:25 ~ 15:10
SHR	15:40 ~	15:10 ~

太良高校 校時表(45分授業)

	45分授業
ホーム	9:30 ~ 9:45
1校時	9:50 ~ 10:35
2校時	10:45 ~ 11:30
3校時	11:40 ~ 12:25
昼休み	12:25 ~ 13:10
4校時	13:10 ~ 13:55
5校時	14:05 ~ 14:50
6校時	15:00 ~ 15:45
掃除	15:45 ~ 16:00
ホーム	16:00 ~ 16:05

太良高校の鳥栖~多良間の通学

登校時			下校時		
下り線			上り線		
	鳥栖(発)	7:24		多良(発)	17:15
	佐賀(着)	7:50		佐賀(着)	18:11
	佐賀(発)	7:52		佐賀(発)	18:17
	多良(着)	8:56		鳥栖(着)	18:43

参考資料3 公共交通機関の状況

JR 唐津線下り・JR 長崎本線接続

JR唐津線下り(佐賀→西唐津)

H27.7.31現在

列車番号		5821D	5823D	5825D	5827D	5829D	5841D	5847D	5847D	5849D	5853D	5855D	5857D	5861D
佐賀	発	5:25		6:41	7:43	8:24	12:40	14:38	15:38	16:41	17:47	18:18	18:48	19:45
鍋島	発	5:29		6:45	7:47	8:28	12:46	14:43	15:42	16:45	17:51	18:22	18:53	19:49
久保田	発	5:33		6:51	7:52	8:33	12:52	14:49	15:48	16:50	17:56	18:27	18:58	19:54
小城	発	5:39		6:57	7:59	8:39	12:58	14:55	15:54	16:57	18:02	18:35	19:07	20:01
東多久	発	5:45		7:04	8:06	8:54	13:05	15:02	16:01	17:08	18:09	18:42	19:14	20:11
中多久	発	5:49		7:09	8:11	8:59	13:10	15:07	16:05	17:13	18:14	18:47	19:19	20:16
多久	着	5:52	--	7:12	8:15	9:02	13:14	15:10	16:08	17:15	18:17	18:50	19:22	20:19
//	発	5:53	6:22	7:12	8:15	9:02	13:15	15:10	16:08	17:16	18:17	18:52	19:22	20:20
厳木	発	6:00	6:30	7:23	8:23	9:10	13:23	15:18	16:16	17:25	18:25	19:00	19:31	20:28
岩屋	発	6:04	6:34	7:28	8:27	9:14	13:28	15:22	16:20	17:29	18:29	19:04	19:35	20:32
相知	発	6:07	6:38	7:32	8:33	9:18	13:32	15:26	16:24	17:32	18:35	19:08	19:45	20:36
本牟田部	発	6:12	6:44	7:38	8:38	9:24	13:38	15:31	16:30	17:38	18:41	19:14	19:51	20:42
山本	発	6:16	6:51	7:44	8:43	9:28	13:43	15:36	16:34	17:42	18:45	19:19	19:56	20:46
鬼塚	発	6:21	6:57	7:49	8:48	9:33	13:53	15:41	16:39	17:47	18:51	19:28	20:01	20:51
唐津	着	6:26	7:02	7:54	8:53	9:38	13:57	15:45	16:44	17:52	18:55	19:32	20:06	20:56
//	発	6:32	7:09	7:55	8:56	9:41	14:02	15:56	16:44	17:52	==	19:40	==	==
西唐津	着	6:35	7:12	7:58	8:59	9:45	14:06	15:59	16:47	17:56		19:43		

◆鳥栖方面からの接続

列車番号		2825M	2829M	4001M
鳥栖	発	6:07	6:42	7:51
新鳥栖	発	6:11	6:46	7:55
肥前麓	発	6:13	6:48	7:57
中原	発	6:17	6:52	8:01
吉野ヶ里公園	発	6:21	6:56	8:09
神埼	発	6:24	6:59	8:12
伊賀屋	発	6:29	7:03	8:16
佐賀	着	6:33	7:08	8:20
//	発	7:01	==	8:21
鍋島	発	7:04		8:24
久保田	発	7:08		8:28

JR 唐津線上り・JR 長崎本線接続

JR唐津線上り(西唐津→佐賀)

H27.7.31現在

列車番号		5822D	5824D	5826D	5830D	5840D	5844D	5846D	5848D	5850D	5854D	5856D	5858D
西唐津	発	6:12	6:46	7:30	8:52	12:26	14:39	15:37	16:04	16:34	17:35		
唐津	発	6:16	6:51	7:33	8:56	12:36	14:47	15:46	16:24	16:52	17:42	18:14	19:23
鬼塚	発	6:21	6:57	7:39	9:02	12:42	14:53	15:51	16:29	16:57	17:47	18:20	19:28
山本	発	6:26	7:03	7:44	9:07	12:48	14:58	15:56	16:34	17:04	17:52	18:25	19:35
本牟田部	発	6:30	7:07	7:48	9:11	12:52	15:02	16:00	16:38	17:09	17:56	18:30	19:40
相知	発	6:38	7:14	7:54	9:18	12:58	15:08	16:06	16:44	17:14	18:01	18:35	19:45
岩屋	発	6:42	7:18	7:59	9:23	13:02	15:12	16:10	16:48	17:18	18:05	18:40	19:50
厳木	発	6:46	7:23	8:04	9:27	13:07	15:18	16:16	16:53	17:25	18:09	18:44	19:54
多久	着	6:54	7:30	8:12	9:35	13:14	15:26	16:24	17:00	17:33	18:16	18:51	20:02
〃	発	6:54	7:31	8:19	9:38	13:15	15:26	16:26	17:00	17:35	18:21	18:52	20:03
中多久	発	6:58	7:34	8:23	9:41	13:19	15:30	16:29	17:04	17:38	18:24	18:55	20:07
東多久	発	7:04	7:39	8:28	9:45	13:23	15:34	16:34	17:08	17:43	18:29	19:00	20:11
小城	発	7:11	7:46	8:39	9:54	13:30	15:40	16:40	17:15	17:49	18:35	19:06	20:18
久保田	発	7:28	7:52	8:45	10:00	13:41	15:49	16:49	17:21	17:55	18:41	19:20	20:25
鍋島	発	7:33	7:57	8:50	10:05	13:46	15:54	16:54	17:26	18:00	18:46	19:25	20:30
佐賀	着	7:38	8:01	8:54	10:09	13:50	15:58	16:58	17:30	18:04	18:49	19:29	20:35

◆鳥栖方面への接続

列車番号	
久保田	発
鍋島	発
佐賀	着
〃	発
伊賀屋	発
神埼	発
吉野ヶ里公園	発
中原	発
肥前麓	発
新鳥栖	発
鳥栖	着

	2862M	2866M	2868M	2940M	2872M	2942M	2878M
	16:00	16:58	17:38	18:38	19:15	19:38	21:11
	16:04	17:01	17:41	18:41	19:19	19:41	21:15
	16:07	17:05	17:44	18:44	19:22	19:44	21:18
	16:08	17:06	17:45	18:45	19:23	19:45	21:19
	16:12	17:10	17:50	18:50	19:27	19:50	21:23
	16:20	17:14	17:54	18:54	19:31	19:54	21:28
	16:23	17:21	17:57	18:57	19:34	19:57	21:31
	16:27	17:26	18:05	19:05	19:38	20:06	21:35
	16:31	17:30	18:09	19:09	19:42	20:10	21:39
	16:34	17:33	18:12	19:12	19:45	20:13	21:42
	16:37	17:36	18:16	19:16	19:48	20:16	21:45

2 教育課程の検討状況

(1) 教育課程設定の方針

単位制導入による多様な選択科目の設定（少人数での授業展開）

選択科目（学校設定科目）の設定

- ・ 中学時の内容の学び直しから、国公立大学等まで対応できる科目設定
- ・ 職業科目、資格取得関連科目やコンピューター関連科目など、多様な科目を設定
- ・ 心身の健全な育成や社会的自立への取り組み支援等のため、ボランティア活動や体験学習等、校外学習活動を設定

履修モデルの設定

就業体験やスポーツ文化活動、技能審査の成果などによる多様な単位認定

2学期制に基づく半期認定科目の設定

(2) 設定予定科目（案）

必履修科目（ ）は選択必履修）

国語総合	世界史A	日本史A	地理A	現代社会	数学
科学と人間生活	化学基礎	生物基礎	物理基礎	体育	保健
音楽	美術	書道	コミュニケーション英語	家庭基礎	
社会と情報	総合的な学習（含「ソーシャルスキル」）				

選択科目

現代文B	古典B	国語表現	日本語教養	文字・言語力基礎	日本史B	世界史B
地理B	地歴演習	数学	数学	数学A	数学B	数学基礎
物理	化学	生物	*自然と実験	音楽	美術	書道
コミュニケーション英語基礎	英語表現	ビジュアル英語	実用英語	生活学	家事入門	生活教養
簿記	簿記演習	ビジネス基礎	情報処理	ビジネス情報	ICT活用基礎	パソコン演習
子どもの発達と保育	生活と福祉	歴史	手芸実習	食生活演習	体験スポーツ	ニュースポーツ
音楽演習	エンジョイミ	ブック	素描	ビジュアルデザイン	*クラフト	書道演習
実用書道						

「総合的な学習の時間」における学習活動として「ソーシャルスキル」を追加

選択科目「コミュニケーション英語基礎」を追加

体験的な科目

秘書実務	マーケティング実習	マルチメディア実習	サーベイ・オブ・スポーツ
*ボランティア	*郷土学習	*栽培体験	*体験学習
佐賀の言語と文化	知識及び技能審査	スポーツ・文化活動	

_____は学校設定科目。*は半期認定科目（予定）

履修モデル

- ア 教養・演習系
- イ 芸術・スポーツ系
- ウ 生活・福祉系
- エ 情報・ビジネス系

新巖木高校設定予定科目(案)

情報・ビジネス系科目

簿記 簿記演習
 ビジネス基礎
 情報処理
 ビジネス情報
 ICT活用基礎
 パソコン演習

芸術・スポーツ系科目

音楽Ⅱ 美術Ⅱ
 書道Ⅱ 音楽演習
 エンジョイミュージック
 素描 ビジュアルデザイン
 クラフト 書道演習
 実用書道
 体験スポーツ
 ニュースポーツ

生活・福祉系科目

生活学 家事入門
 生活教養
 子どもの発達と保育
 生活と福祉
 服飾手芸実習
 食生活演習

教養・演習系科目

現代文B 古典B 国語表現
 日本語教養 文字・言語力基礎
 世界史B/日本史B/地理B 地歴演習
 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学基礎
 物理 化学 生物 自然と実験
 コミュニケーション英語基礎 コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
 ビジュアル英語 実用英語

選択科目「コミュニケーション英語基礎」を追加

国語総合
 世界史A
 日本史A/地理A
 現代社会
 数学Ⅰ
 科学と人間生活
 化学基礎/生物基礎/物理基礎
 体育 保健
 音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ
 コミュニケーション英語Ⅰ
 家庭基礎
 社会と情報
 総合的な学習の時間

「総合的な学習の時間」における学習活動として「ソーシャルスキル」を追加

※____は学校設定科目

必修科目

秘書実務 マーケティング実習 マルチメディア実習
 サーベイ・オブ・スポーツ ボランティア 郷土学習 栽培体験
 体験学習 佐賀の言語と文化 知識及び技能審査 スポーツ・文化活動

体験的な科目

新蔵木高等学校カリキュラム(案)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1 年 次	共通	国語総合		世界史A		数学基礎		化学基礎		体育		保健		芸術 I		コミュニケーション 英語基礎		英語会話		社会と情報		選択 ①文字・ 意語力基 礎 ②ビジュ アル英語 ③自然と 実験		選択 ①文字・ 意語力基 礎 ②ビジュ アル英語 ③自然と 実験		体験学習		総学 (ソール シャルス キル含 む)		LHR	

※半期認定科目(2
科目選択)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
2 年 次	進学コース 就職コース	共通科目																													
		選択科目																													
進学コース		現代文B		日本史B 地理B		現代社会		数学 II		物理基礎 生物基礎		体育		保健		コミュニケーション 英語 II		英語表現 I 家庭基礎		古典B		数学A 数学B		数学 II		総学 ①サーベイ・オブ・ス ポーツ ②ポランティア ③体験学習A ④体験学習B (ソールシャルスキ ル含む)		LHR			
就職コース		現代文B		日本史B 地理B		現代社会		数学 I		物理基礎 生物基礎		体育		保健		コミュニケーション 英語 I		英語表現 I 家庭基礎		IOT活 用基 礎 ビジュ アル英 語		ビジネス 基礎		英語表現 II 補習		総学 ①サーベイ・オブ・ス ポーツ ②ポランティア ③体験学習A ④体験学習B (ソールシャルスキ ル含む)		LHR			

※半期認定科目(2
科目選択)

単位数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
3 年 次	進学 コース	共通科目																													
		選択科目																													
進学コース		現代文B		日本史B 地理B		現代文B		数学 III		物理 生物		化学		政治経済		古典B		英語表現 II		数学 III 数学B		LHR									
就職コース		現代文B		日本史B 地理B		現代文B		数学 II		地歴演習 音楽演習 素描 書道演習		科学と 人間生活		エンジョイ ミュージック クラフト 実用書道		英語表現 II		英語表現 II		数学 III 数学B		LHR									
就職コース		現代文B		日本史B 地理B		現代文B		数学 I		情報処理		芸術 II		ニュー スポーツ		英語表現 II		英語表現 II		数学 III 数学B		LHR									
就職コース		現代文B		日本史B 地理B		現代文B		数学 I		子どもの発 達と保育		芸術 II		ビジネス 実務		英語表現 II		英語表現 II		数学 III 数学B		LHR									
就職コース		現代文B		日本史B 地理B		現代文B		数学 I		食生活 演習		芸術 II		ビジネス 実務		英語表現 II		英語表現 II		数学 III 数学B		LHR									
就職コース		現代文B		日本史B 地理B		現代文B		数学 I		食生活 演習		芸術 II		ビジネス 実務		英語表現 II		英語表現 II		数学 III 数学B		LHR									

※半期認定科目(2
科目選択)

※半期認定科目(2
科目選択)

地域連携について

1 地域連携の基本方針

- (1) 地域に開かれた学校づくりの推進
 - 地域との関わりを深める教育活動の実施（体験学習、職場体験）
 - 地域の伝統的行事への積極的参加や伝統文化の継承
 - 休日等の学校施設の地域開放（学校図書館、特別教室、グラウンドなど）
 - 教職員と地域住民の連携による非行防止等の生徒指導
- (2) 地域の教育力の活用
 - 地域の多彩な人材を講師とした学校設定科目の開設
 - 学校と地域との交流や、人材の相互活用

2 体験学習

- (1) 体験学習における基本方針

改編後の厳木高校においては、地域の協力を得ながら体験学習を実施することとする。自然の偉大さや美しさなどに会ったり、現実の社会の中で様々な人と関わったりする中で、次のような学習効果が期待される。

 - 心身の健全な発達や豊かな人間性の醸成
 - コミュニケーションスキルや社会性の獲得
 - 勤労の尊さや生産の喜びの体験

受講回数

在学中に2回以上の体験学習（インターンシップ1回を含む）受講を指導する。

評価

就業体験（インターンシップ）、ボランティア活動は単位認定のみとし、実習を中心とする学校設定科目は単位認定及び評価（出席、レポート、意欲・態度等）を行う。

保険

- ・ 体験学習中に生徒が傷病等を負った場合、生徒が予め加入している日本スポーツ振興センター災害共済で対応する。

障害見舞金 3,770万円～82万円
死亡見舞金 2,800万円（運動などの行為と関連が無い場合 1,400万円）
- ・ 生徒の非に帰する事由により、体験先又は第三者に損害を与えた場合に備え、予めインターンシップ・ボランティア等体験活動賠償責任保険に加入する。（産業教育振興中央会）

生徒負担額 250円	
身体賠償 1名・1事故	1億円限度
財物賠償 1事故・期間中	2,000万円限度

消耗品

体験学習実施に当たり、必要な消耗品は事前に調査し、調達する。

雨天時の対応

雨天時に実施できない場合は、代替の対応を検討する。

(2) 体験学習の内容等

実習を中心とする科目として実施するもの

年間指導計画に基づき、実習を中心とする学校設定科目として単位認定する

ア 学校設定科目の種類

- ・ 受け入れ先（事業所等）での体験学習
- ・ 学校農園における実習（テニスコート横の学校農園を使用）
- ・ 地域や郷土について学習する科目
- ・ その他、実習を中心とする科目

イ 実施回数

週1回程度の実施を基本とする

（50分授業の場合35授業時間で1単位、45分授業の場合39授業時間で1単位となるため、半期受講で20週、通期受講で40週程度の実施が必要）

ウ 実施上の留意点

- ・ 指導者として、地元人材を活用する
- ・ 1～3年次生を対象とし、在学中に1～2回程度は受講できるように科目を設定する
- ・ 各講座には最低1人ずつの担当教員を配置し、実施内容については十分に事前指導を行う
- ・ 事業所等での体験学習及び校外で活動を行う体験学習の活動先への生徒移動については、学校周辺であれば徒歩又は自転車。遠方の場合は公共交通機関又は公用車の利用を検討する。（太良高校並みの公用車（ワゴン車2台）を整備する必要あり）

エ 実施形態

<3コマ授業> 受け入れ先（事業所等）での体験学習

- ・ 受講期間 : 前期・後期（金曜日午後を予定）通期受講
- ・ 修得単位数 : 3単位
- ・ 講座 : 「体験学習」... 8講座（前期4講座、後期4講座）程度
- ・ 参加人数 : 1グループ4～5人程度
- ・ 時間設定例（45分×3コマ）

	内容	時間（校時案）	備考
1	学校出発・作業内容説明	13:15～13:35	・作業体験中の休憩は指導者の指示で適宜行う。 ・事前説明、学習内容整理は校内で実施する場合も考えられる。
2	作業体験	13:35～15:40	
3	講評及び後片付け	15:40～15:45	
4	作業終了・学校到着	15:45～15:55	

<2 コマ授業> 学校農園実習、郷土学習等、実習を伴う学校設定科目

- ・ 受講期間 : 前期又は後期(水曜日午後を予定)半期受講
- ・ 修得単位数 : 1単位
- ・ 講座 : 「郷土学習」、「栽培体験」、「ボランティア」
- ・ 時間設定例(45分×2コマ)

	内容	時間(校時案)	備考
1	学校出発・作業内容説明	14:15 ~ 14:35	・作業体験中の休憩は指導者の指示で適宜行う。 ・事前説明、学習内容整理は校内で実施する場合も考えられる。
2	作業体験	14:35 ~ 15:40	
3	講評及び後片付け	15:40 ~ 15:45	
4	作業終了・学校到着	15:45 ~ 15:55	

オ 実施内容例

農業体験：農作物(水稻、野菜、果物、花卉等)の植え付け、栽培管理、収穫、作業道具の整備、加工など

学校農園での作物栽培、収穫物を使った調理実習などの校内実習

林業体験：植樹、枝打ち、下草刈り、間伐、生産、木工加工など

福祉体験：デイサービス、トレーニングなどの現地実習

販売体験：道の駅などにおける販売実習

工場体験：畜産加工工場、組立工場など

教育支援体験：小学校における教育支援実習

ボランティア：地域清掃ボランティアなど(駅、道の駅、河川など)

<体験学習先候補>

・道の駅厳木『風のふるさと館』	・寿光園(養護老人ホーム)
・厳木温泉 佐用姫之湯	・唐津市社会福祉協議会厳木支所
・まつら森林組合	・ヨコオ(株)厳木工場
・JA からつ 厳木支所	・カーマン(障害者の方の作業所)
・Qショップ(スーパー)	・環境芸術の森

学校外で行うボランティア活動を主とするもの

ア 実施時期：夏休み期間等に5日間集中的に実施

(ボランティア活動4日、学習内容整理1日)

イ 活動内容：1日8時間以内とし、外部団体の計画内容に基づく活動を行う。

検討する候補先として追加

ウ 実施上の留意点

- ・ 対象は1~3年次生とする。
- ・ 必要な範囲で担当教諭が巡回指導を行う。
- ・ 交通費等は生徒負担とする。
- ・ 評価は行わず、単位認定のみ。

<ボランティア活動先候補(厳木高校平成27年度実績)>

寿光園(養護老人ホーム)	岩屋保育園	厳木支所共同浄水場
作礼荘(特別養護老人ホーム)	中島保育園	唐津市立簗木小学校
唐津市役所本庁舎	さくれい(小規模多機能型居宅介護事業)	佐賀県立唐津特別支援学校
唐津市浜玉市民センター	養護盲老人ホーム サリバン	唐津手話の会
唐津市厳木市民センター	アメニティーきゅうらぎ	NPO 法人環境防災推進機構
唐津市相知市民センター	社会福祉法人あやめ会 太陽社	KANNE

学校外で行う就業体験を主とするもの
 学校設定科目「就業体験（インターンシップ）」として単位認定する。

ア 実施時期： 夏休み期間等に5日間集中的に実施
 （就業体験3日 事前指導1日 学習内容整理1日）
 始業から午後5時程度までの1日8時間以内の就業体験とする。

イ 活動内容：
 ・ 受け入れ事業所との協議により決定
 （正規従業員と同じ勤務状態で業務の一部の実習を行う）
 ・ 原則として1テーマの内容で実施
 例1：道の駅、商業施設等での販売体験、仕入体験
 例2：畜産加工場での加工作業体験

ウ 時間設定例（夏休み集中実施）

	内容	時間	備考
1	作業内容説明	9:00 ~ 9:30	・始業時から午後5時程度までの1日8時間以内の作業とする。 ・作業体験中の休憩は指導者の指示で適宜行う。 ・最終日は学習内容整理日とする。
2	作業体験	9:30 ~ 12:00	
3	昼食休憩	12:00 ~ 13:00	
4	作業体験	13:00 ~ 16:30	
5	講評及び後片付け	16:30 ~ 17:00	

エ 実施上の留意点

- ・ 対象は原則2年次生とし、全員受講を基本とする。
- ・ 事前・事後の指導は総合的な学習の時間も利用して行う。
- ・ 必要な範囲で担当教諭が巡回指導を行う。
- ・ 交通費等は生徒負担とする。
- ・ 評価は行わず、単位認定のみ。

<インターンシップ先候補（巖木高校平成27年度実績）>

お菓子の店 gala	町田保育園	ウイングクリエイティブオフィス
宮脇書店	日東工業株式会社唐津工場	村岡総本舗小城中央店
てらだ整骨院	山本保育園	社会福祉法人 東方会瑠璃光園
佐志山窯	若葉保育所	イオン唐津ショッピングセンター
作礼荘	(株)ウエスト唐津店	社会福祉法人唐津福祉会 栄荘
アプローズ 本店	ムーランルージュ 唐津店	(株)佐嘉スポーツ
鏡山温泉	つくしんぼグループホーム唐津	今村歯科医院
あんくるふじや唐津店	エルアン幼稚園	パティスリーホリ
小城市役所	ザ・ビッグ 三日月店	有限会社西部エンジニアリング
あんくるふじや 唐津西店	住宅型有料老人ホームいこいの	社会福祉法人 佐賀整肢学園からつ医療
石窯パン工房 LuLu	里唐津	福祉センター

4 小高連携事業

- (1) 基本方針
唐津市立簗木小学校と連携した教育活動を行う（学校行事、授業、ボランティア等）
- (2) 連携内容
ボランティア（生き物観察、サマースクール（補助授業））
その他（夏休み水泳指導 等）

5 通学対策（地域連携に係るもの）

- (1) 通学対策に関する考え方
生徒を全県から募集する全県募集枠を設けるため、通学利便性向上のための通学対策を実施する。
- (2) 考えられる通学対策
始業・終業時間の工夫
 - ・ JR 等のダイヤを考慮し、広域からの通学が可能な始業時間・終業時間を設定する。
（始業時間は鳥栖方面からの JR 通学が可能な時間帯に設定する）

下宿の確保

一般交通機関での通学が困難な生徒のために、下宿先を確保する。

⇒ 太良高校では、町の広報誌で生徒の下宿受け入れ先を募集。太良町教育委員会と下宿受け入れ先、希望生徒間で手続きを行っている。

その他

6 「地域教育連絡協議会」の設置

(1) 目的

佐賀県立新蔵木高等学校の学校経営等に地域の意見等を取り入れ、新蔵木高校の生徒の教育を地域が支援する学校とするため、佐賀県立新蔵木高等学校地域教育連絡協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(2) 活動内容

新蔵木高校の学校経営及び教育活動、新蔵木高校と地域社会との連携等に関し、意見交換・協議等を行い、助言・支援等を行う。（年間2回程度開催）

(3) 委員構成（案）

- ・ 唐津市関係者（唐津市長、蔵木市民センター長、唐津市教育長）
- ・ 地域代表（地元区長代表、体験授業生徒受け入れ事業所代表、社会福祉協議会代表、食生活改善推進協議会代表など）
- ・ 保護者代表（PTA）
- ・ 同窓会代表
- ・ 有識者
- ・ 教育関係者（地元中学校長、小学校長、教育庁再編室、新蔵木高校長）
- ・ その他教育長が適当と認める者

(4) その他

- ・ 事務局は新蔵木高校に置く

教育相談・生徒指導体制

1 教育相談体制

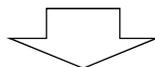
(1) 目標

【現行】現巖木高校 教育相談・特別支援教育の「目的」(H27 学校要覧)

生徒が安心して高校生活を送るために、教育相談及び特別支援教育の充実を図り、教職員のスキルアップを図る。

新たに必要となる内容

- ・ それぞれの生徒の特性や状況に応じた支援（発達障害を持つ生徒の支援体制）
- ・ 専門家の積極的活用や専門機関との連携



【目標（案）】

生徒が安心して、より充実した高校生活を送ることができるように、個々の生徒の実態を踏まえたうえで、それぞれの特性や状況に応じた支援や相談を行う。

(2) 基本方針

個別の生徒の状況に対応できる教育相談や支援体制の構築
 スクールカウンセラー（SC）等の専門家や県教育センター等の専門機関の活用
 全ての教職員の教育相談スキルの向上に向けた取り組みの実施
 学校・家庭・地域の密接な連携
 ホームルームや授業、学校行事などあらゆる機会を通じた指導・支援の工夫
 相談・支援が必要な生徒に配慮した、設備・施設の整備

(3) 教育相談・支援体制の整備

支援体制の構築

- ア 教育相談スキルを持った職員をバランス良く各学年に配置する。
- イ 定期的（月1回程度）に生徒支援委員会を実施し、生徒の状況把握に努める。
- ウ 生徒の問題行動等が発生した場合や等緊急対応が必要な場合は、担任等が報告書を作成し、関係職員で情報共有するとともに、必要に応じて生徒支援委員会に諮る。
- エ 学校生活が切り替わる節目ごとに教育相談週間を設定し、2者面談等による生徒の状況把握を行う（年度当初、夏休み明け、後期等）
- オ 個々の生徒に関して、関係中学校（小学校）と情報交換を行い、パーソナルカルテや生徒支援計画書等を作成して情報の共有に務め、指導・支援の参考とする。
- カ 教育相談主任（特別支援教育コーディネーター）または担当者の何れかが、教育相談室に常駐できるようにする（授業持ち時間の配慮必要）
- 学校外の専門家・専門機関の活用
- ア 県の「県立学校スクールカウンセラー配置事業」及び「スクールソーシャルワーカー活用事業」を最大限活用し、活用時間の確保に努める。（太良高校は専属SCで280時間確保）
- イ 各学年に学習支援員を1名ずつ配置し、支援が必要な生徒への学習支援等を行う。

教職員の資質向上

- ア 定期的に外部専門家等による校内教職員研修会を実施する。
- イ 県教育センターの研修等を活用し、教職員の教育相談スキルの向上を図る。
- ウ 定期的（学期に1回程度）に、全教職員による生徒理解のための事例研究会等を開催し、情報の共有と教職員のスキル向上に努める。

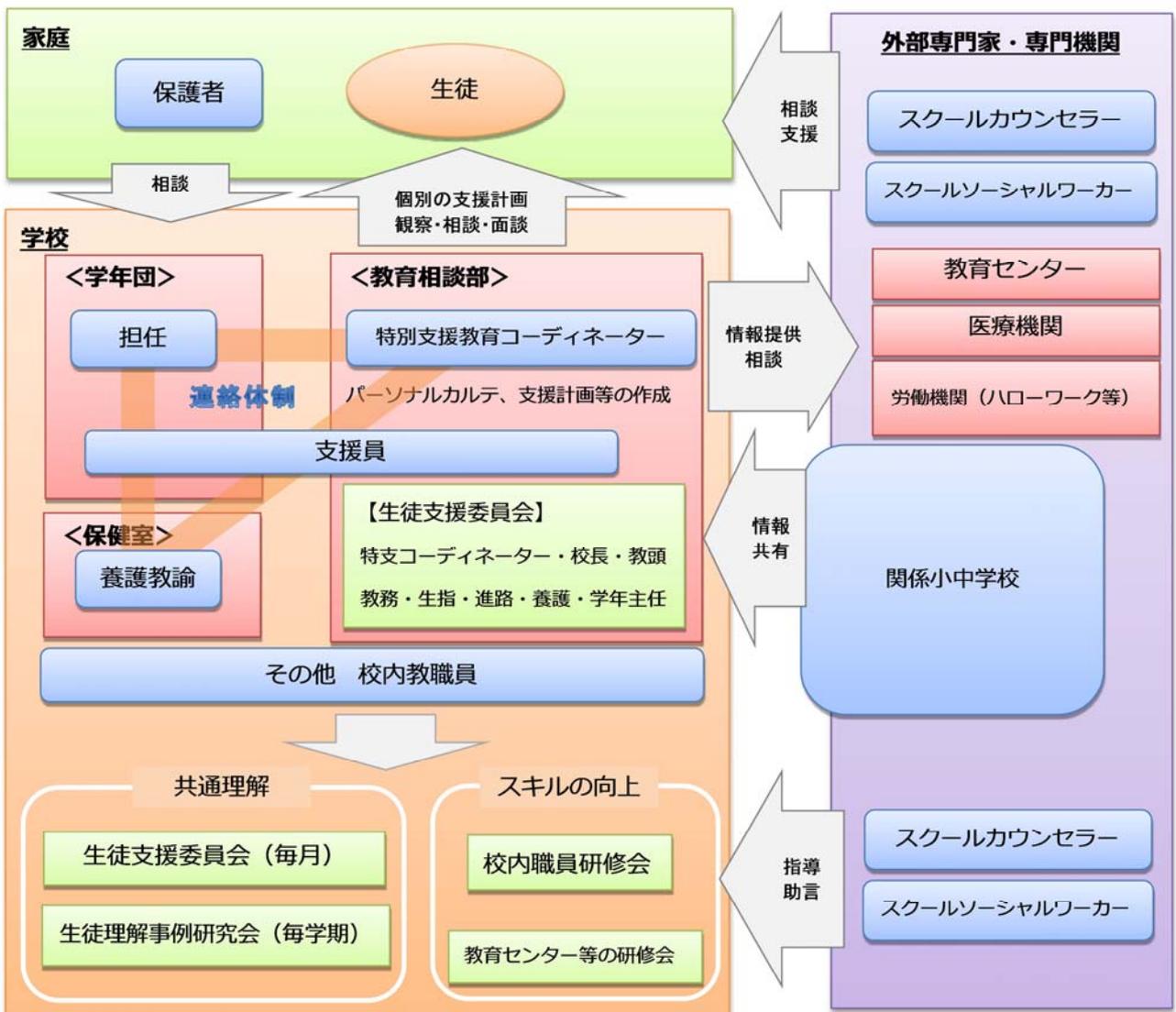
連携

- ア 年2回程度、担任・保護者・生徒による三者面談を実施し、生徒の家庭での状況把握に努めるとともに、情報共有を図る。
- イ 発達障害に関する専門家による保護者対象の研修会を年1回以上実施する。（保護者会開催に合わせて実施するなど）

施設・設備の整備

- ア 授業中などに心身の不調が出た生徒への対応や学習指導のために、校内に学習支援室やカームダウン室を整備する。
- イ 学習支援室には教職員（支援員等）を配置する。
- ウ 原則として受講していた授業と同じ内容を自習、課題学習させる。
- エ 学習支援室の利用はあくまでも臨時的なものであり、通常授業に戻れるように支援する。

新蔵木高校 教育相談体制 概念図



2 生徒指導体制

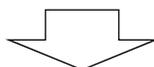
(1) 目標

【現行】現巖木高校 生徒指導の「目的」(H27 学校要覧)

- (ア) 自らの生き方を考えさせる。
- (イ) 望ましい人間関係を築く態度を養う。
- (ウ) 自立的態度を養う。
- (エ) 基本的生活習慣の確立をはかる。

新たに必要となる内容

- ・ それぞれの生徒の特性や状況に応じた生徒指導という視点(発達障害を持つ生徒の特性に応じた指導等)
- ・ 教育相談部や保健室と連携した生徒指導体制の構築(発達障害を背景とした問題行動への対処)
- ・ 社会性や規範意識の涵養を図る指導



【目標(案)】

- (ア) 他人を思いやる優しい心と豊かな人間性の育成。…めざす学校像より
- (イ) 社会規範を遵守し、公共心を持った良識ある生徒の育成。
- (ウ) 自律的態度の涵養と、基本的生活習慣の確立。
- (エ) 場にふさわしい振る舞いができる、気品ある人格の陶冶。

(2) 基本方針

生徒の個性や特性に応じた、全職員の共通理解に基づく指導。
地域や保護者と連携した指導の実施。
あいさつの励行と身だしなみ指導の徹底
環境美化活動や奉仕活動の重視
交通ルール遵守の徹底

(3) 指導体制・内容

- 生徒の個性や特性に応じた、全職員の共通理解に基づく指導
- ア 管理職、生徒指導主任、学年主任、担任を中心として、教育相談、養護教諭と連携を取りながら取り組む。
 - イ 生徒の日頃の行動や態度等について、職員会議や教育相談の会議等の場を活用して全職員で情報を共有し、一致した方針で指導する。
 - ウ 問題事案発生時における校内連絡体制を整備し、全職員で周知徹底する。
 - エ 発達障害のある生徒の指導
 - ・ 発達障害のある生徒への指導に当たっては、生徒の個性(障害等)に応じた指導を行う。(例：大声での指導に注意する。個別の指導を心がける。背後から声を掛けない等)
 - オ 不登校経験のある生徒や中途退学者の指導
 - ・ 不登校、中途退学になった原因等について情報を共有し、個々に応じた指導を行う。

地域や保護者と連携した指導の実施

- ア 学校参観、保護者会、学校便り等を活用して、保護者や地域に情報提供し、理解を得る。
- イ 保護者や地域と連携し協力を得て、朝や帰りの登下校指導を行う。

あいさつの励行と身だしなみ指導の徹底

- ア 職員と地域、保護者による朝のあいさつ運動を行う。
- イ 授業、集会等、日常の学校生活の様々な機会を通じて、あいさつ指導を行う。
- ウ 全職員の共通理解に基づき、日常的な身だしなみ指導を徹底する。

環境美化活動や奉仕活動の重視

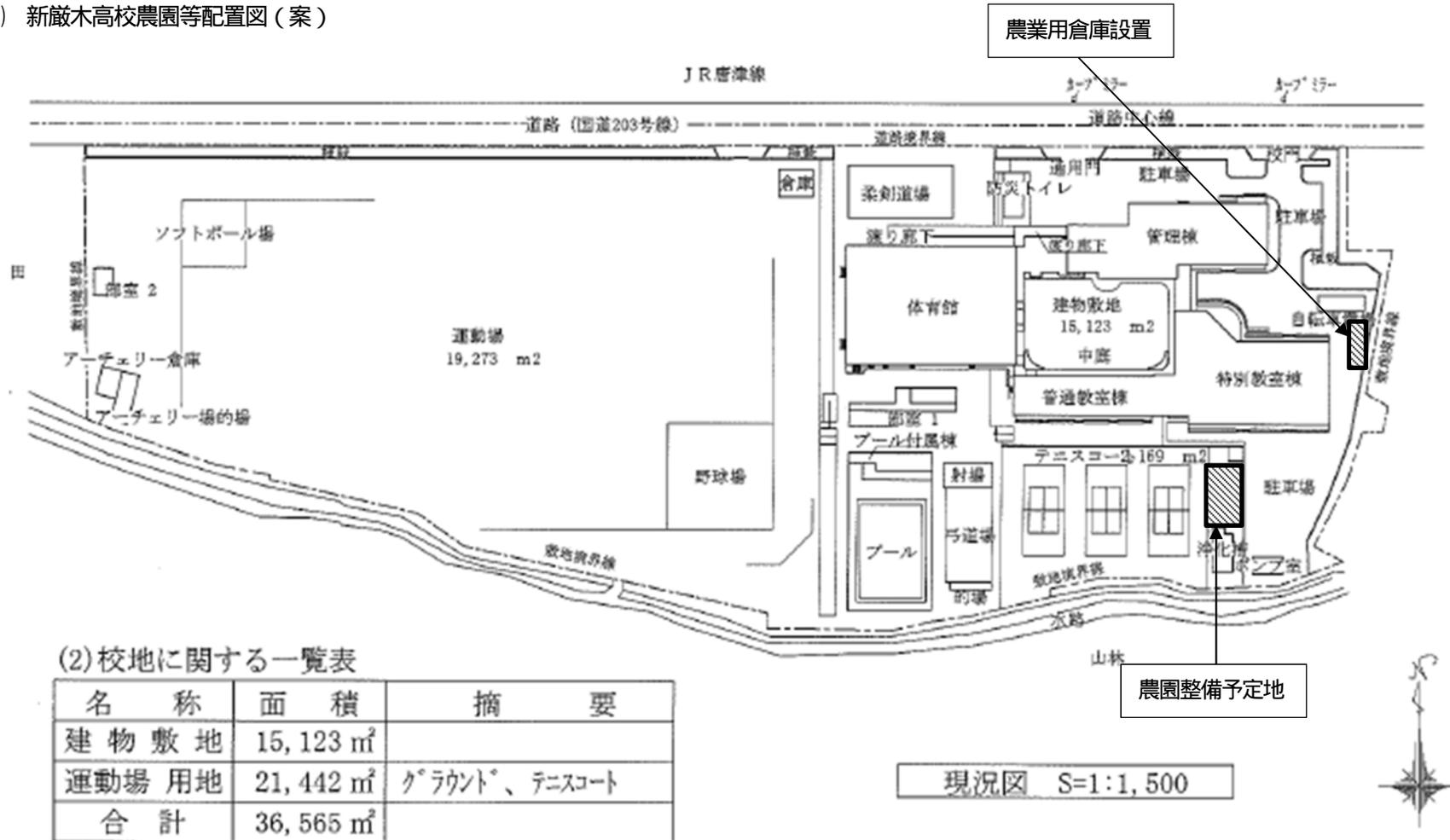
- ア 「ボランティア」の授業に環境美化活動や奉仕活動を取り入れる。
- イ 毎日の掃除時間は「全員掃除」とし、全職員で清掃指導を行う。

交通ルール遵守の徹底

- ア 保護者や地域と連携し協力を得て、朝や帰りの登下校指導を行う。(再掲)
- イ 年に1~2回程度、自転車マナー講習会や交通安全講話等を実施する。

施設・設備等

(1) 新葦木高校農園等配置図(案)

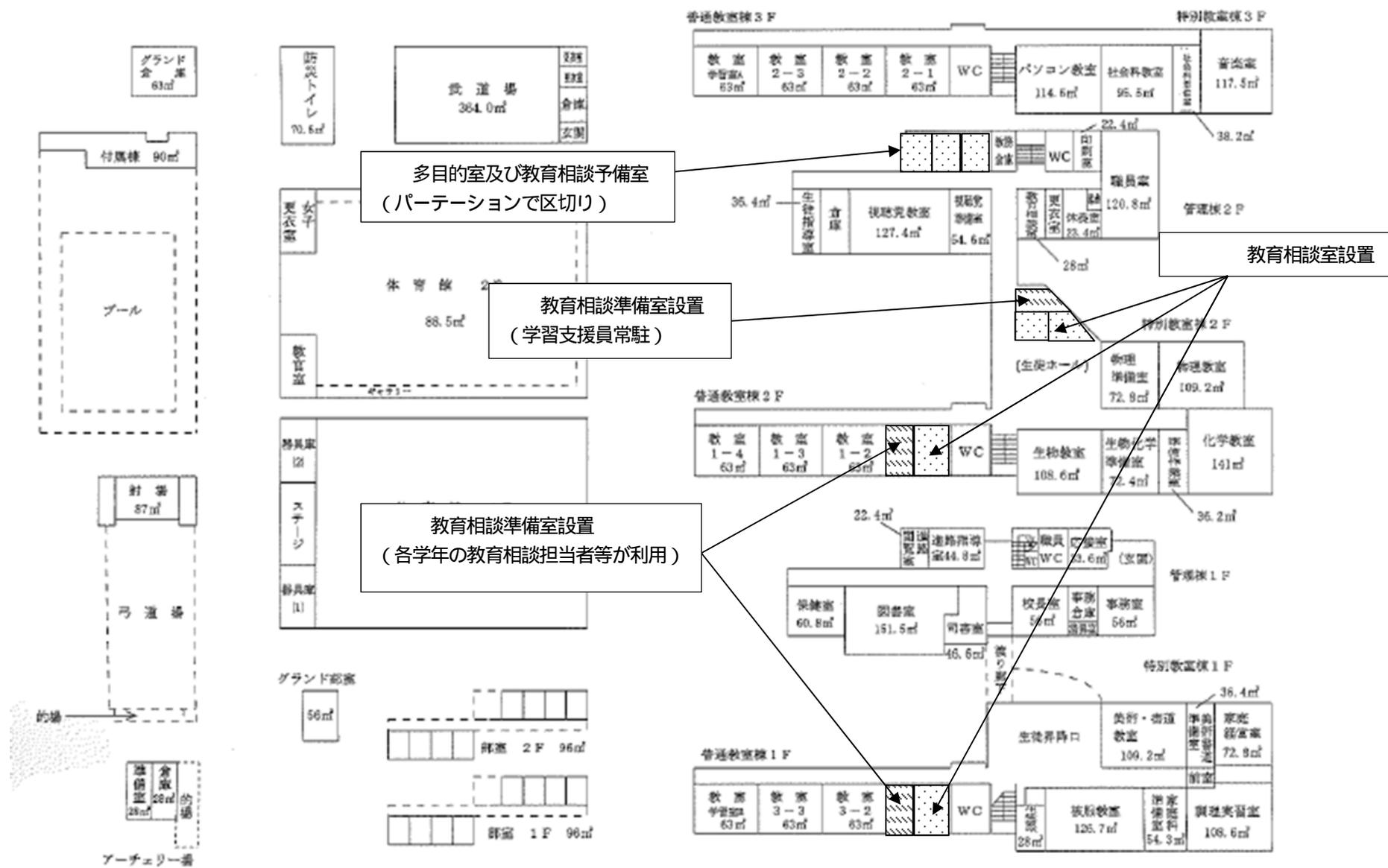


(2) 校地に関する一覧表

名称	面積	摘要
建物敷地	15,123 m ²	
運動場用地	21,442 m ²	グラウンド、テニスコート
合計	36,565 m ²	

(2) 新蔵木高校教室等配置図(案)

各教室及び教育相談室に空調設置



(3) その他

分野	事項	内容
学習・生活支援関係	遮光カーテン設置	4 教室×3 学年
	防音ゴム（机・いす）	80 組×3 学年
ICT 関係	電子黒板	特別教室（家庭科室・理科室等）
	e-ラーニング教材	(例)ラインズドリル
体験学習関係	ワゴン車（公用車）	体験学習生徒移動用（2 台）
	軽トラック	農作業用（1 台）
	ミニ耕耘機	校内農園用
	体験学習用消耗品	農具、ヘルメット、作業服等

教職員等の配置

1 教員配置

巖木高校現状の教員配置状況（平成27年5月1日現在）

校長1人、教頭1人、教諭23人、臨任（常勤）講師4人、非常勤講師5人、初任研指導1人

計 27人

2 支援員等の配置

(1) 学習支援員

業務内容（太良高校の場合）

- ・ コミュニケーションが苦手な生徒のサポート（授業中以外も）
- ・ 授業中のサポート（ノートの取り方）等
- ・ 教育相談室常駐
- ・ 提出物の確認
- ・ 体調観察、行動観察（休み時間中など）観察記録の作成
- ・ 特別支援コーディネーターとのカンファレンス
- ・ 担任、教科担当、保健室との情報交換、相談

必要配置数

- ・ 各学年担当で1人。計3人必要。
（現太良高校 2人配置）

(2) 地域連携支援員

業務内容（太良高校の場合）

- ・ 地域と連携した体験学習に係る業務（週一日3時間連続での授業の準備）
- ・ 栽培体験学習に係る業務（週一日2時間連続授業の準備）
- ・ 奉仕の授業に係る業務（地域との連絡調整等）
- ・ 地域ボランティアに係る業務（外部団体、町関係課との連絡調整）
- ・ 広報（学校通信（HOT通信））に係る業務
- ・ 学校説明会、公開授業等に係る業務
- ・ 地域教育連絡協議会に係る業務
- ・ 体験入学及びオープンキャンパスに係る業務
- ・ キャリア教育（特別支援教育）の充実に係る業務

必要配置数

1人（現太良高校 1人配置）

3 スクールカウンセラー等の配置 スクールカウンセラー（SC）の配置

(1) SCの配置方式 配置

ア 高等学校については、12地区に分け、各地区に1名のSCを配置する。また、各地区に拠点校を設ける。

イ 特別支援学校については、2地区に分け、各地区に1名のSCを配置する。また、各地区に拠点校を設ける。

SCは、各地区の拠点校を中心に活動し、必要に応じて地区内の学校に対応する。拠点校は、地区内の各学校との連絡調整及び事務手続きの取りまとめを行い、本事業が円滑に実施されるよう配慮する。

(2) SCの勤務形態

年間の配当時数については別表の配置計画に示すとおりとする。

勤務時間は1時間単位とし、1回の訪問で4時間又は8時間を原則とする。

出勤簿は、各高等学校及び各特別支援学校で作成し、毎月拠点校が集約する。

各高等学校及び特別支援学校への配当時数については、同じ地区の学校間で協議のうえ決定する。

(3) SCの職務

SCは、校長の指揮監督の下に、概ね以下の職務を行う。

地区内の全学校を対象とした生徒へのカウンセリング

カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言・指導

- ・ 教師の教育相談に関する力量の向上（校内事例研修会、実技研修会等）
 - ・ 保護者や相談機関との連携の在り方 等
- 生徒のカウンセリング等に関する情報収集・提供

- ・ いじめや不登校等の基本的な認識

- ・ 子どもの心の捉え方や対応の在り方 等

その他生徒のカウンセリング等に関し、各学校において適当と認められるもの

- ・ 保護者への講話
- ・ 保護者へのカウンセリング
- ・ 学校だよりや教育相談だより等の原稿執筆など

(4) 各学校における位置付け

各学校においては、SCを校内組織等に位置付けるとともに、相談環境を整え、その効果的な活用を図るものとする。

平成27年度県立学校スクールカウンセラー事業実施要項(学校教育課)より抜粋

スクールソーシャルワーカー（SSW）の配置

(1) スクールソーシャルワーカーの職務

問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働き掛け
関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整
学校内におけるチーム体制の構築、支援
保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
教職員等への研修活動
円滑なスクールソーシャルワーカー活用に関する市町教育委員会への助言 など

(2) スクールソーシャルワーカーの派遣に伴う留意事項

手続きに関する留意点

一件における生徒対応については16時間以内、研修会等（講演）については2時間を原則とする。

SSWの勤務時間が全県立学校で250時間及び予算の範囲内で今年度の県立学校活用事業を終了する。

SSWが担当する県立学校は、原則としてSSWが配置されている教育事務所管内の県立学校とする。

平成27年度スクールソーシャルワーカー活用事業実施要項（学校教育課）より抜粋

4 地域人材の活用

「地域連携の基本方針」の中で、地域の教育力の活用のために「地域の多彩な人材を講師とした学校設定科目の開設」としている。

（現太良高校の場合、6講座18時間程度を担当）

選抜方法

1 募集定員について

- (1) 西部学区枠：40人
- (2) 全県募集枠：40人
- (3) 転編入学枠：10名程度（4月・10月）

2 選抜基本方針

- (1) 西部学区枠の対象となる生徒層
西部学区（旧北部学区・旧西部学科）の生徒（東部学区からは募集定員の20%以内）
- (2) 全県募集枠の対象となる生徒層
全日制高校で学ぶ意欲と能力のある県内全域の
 - ・ 不登校経験があり、やり直す意欲のある生徒
 - ・ 発達障害があり、特性を伸ばそうとする生徒
 - ・ 高校中途退学者で学び直す意欲のある者

3 応募資格

佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項を基本とする

- (1) 西部学枠
原則として保護者及び志願者の住所が佐賀県内にある者（ただし、東部学区からの志願者で入学を許可される者の数は募集定員の20%以内）
- (2) 全県募集枠
原則として保護者及び志願者の住所が佐賀県内にあるもので、全日制高校で学ぶ意欲と能力があり、以下の～の何れかの条件を満たすもの。
 - 不登校経験等のある者
中学校での不登校に係る欠席日数及び適応指導教室への通所等により出席扱いになっている日数の合計が、いずれかの学年で30日以上である者
 - 発達障害のある者
医療機関等から発達障害（LD、ADHD、高機能自閉症等）の診断を受けている者、又は本人及び保護者が発達障害であることを認識している生徒で、中学校長もその傾向があると判断する者
 - 高等学校を中途退学した者（なお、前籍校の修得単位は原則として新蔵木高校の卒業単位として認めない。）
 - 一般選抜試験の西部学区枠と全県募集枠の併願は認めない
 - 新蔵木高校全県募集枠選抜においては、上記に該当する受検者に限って、太良高校に倣い学力検査問題の問題文の漢字(原則として小学校で学習する漢字を除く)に、必要に応じてふりがなを付けるなどの特別な配慮をする場合もある。

(3) 転編入学（全県募集枠）

転編入学は、4月と10月に以下の者を対象として募集する。

ア 転入学： 現在、他の高等学校に在籍している者

イ 編入学： 高等学校に1年以上在籍し、一定の単位を修得して中途退学した者
（転編入学の年次は修得単位数等より決定する）

4 選抜方法

(1) 西部学区枠

中学校長から提出された調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査の成績及び面接の結果等に基づき、総合的に審査して行うものとする。

(2) 全県募集枠

新巖木高校で学習したいという生徒の意欲を尊重する。

受検教科のうち高得点3教科を傾斜配点（得点2倍）とし、さらに面接を重視して評価する。

調査書の出欠の記録と各教科の学習の記録については評価の対象としない。

事前に連絡を受けた別室受検等配慮が必要な生徒については対応する。

(3) その他

- ・ 平成30年度の4月転入学・編入学試験については実施しない。

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
 - 二 新高校の施設・設備に関すること
 - 三 新高校への円滑な移行に関すること
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

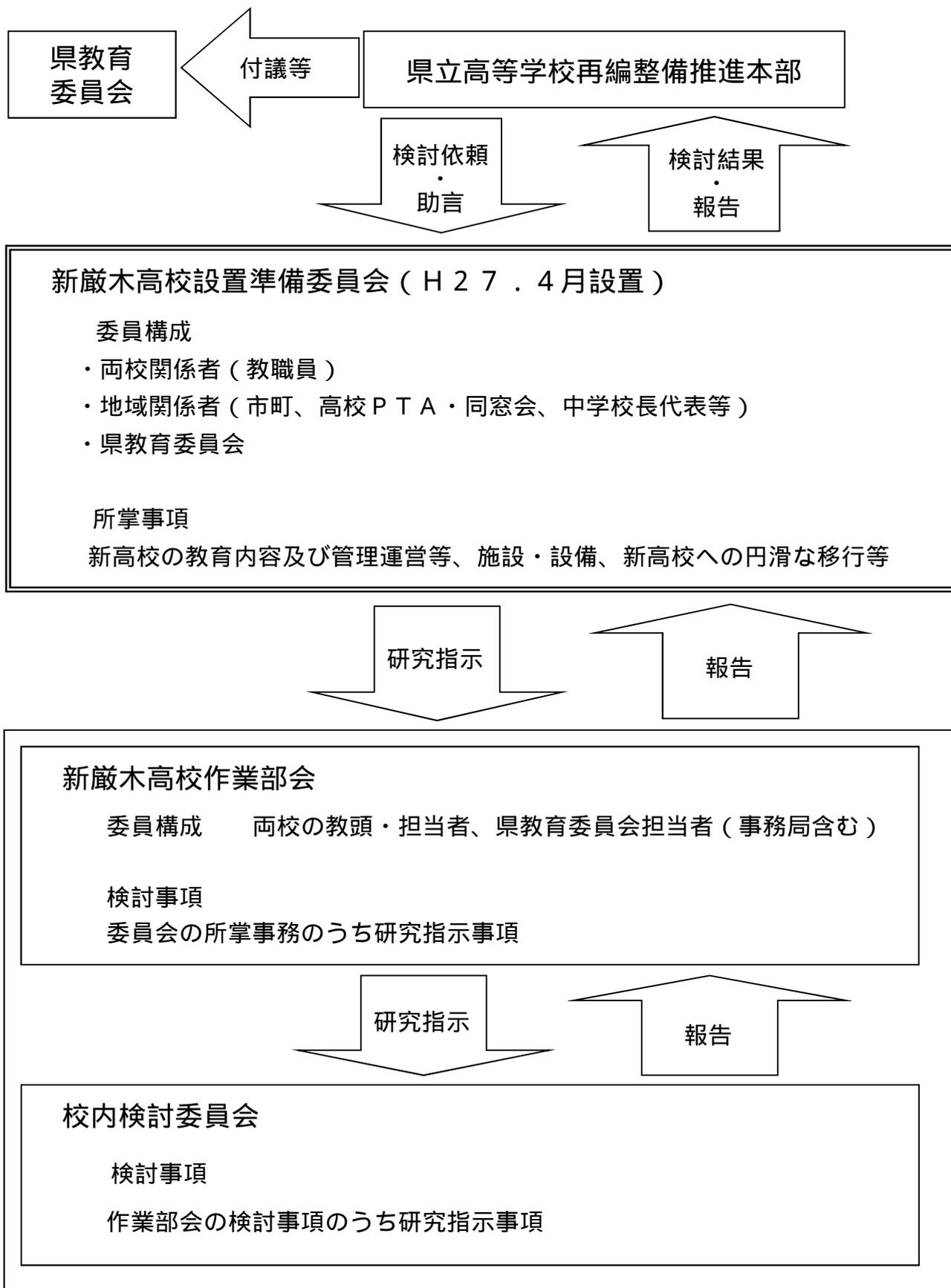
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料 10 新 庵木高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	庵木高等学校 校長	馬場 知之	委員長・学校関係者	
2	庵木高等学校 教頭	北村 敬	副委員長・学校関係者	
3	庵木高等学校 事務長	進藤 安恵	学校関係者	
4	唐津市教育長	稲葉 継雄	唐津市	市町関係者
5	唐津市 庵木市民センター長	天川 俊雄		
6	庵木高等学校 同窓会代表	米倉 憲一郎	地元関係者	
7	庵木高等学校 PTA代表	荒嶋 久美子		
8	唐津市立庵木中学校長	篠原 智文	中学校関係者	
9	教育政策課長	八谷 幸浩	県教委関係者	
10	教育情報課長	碓 浩一		
11	特別支援教育室長	馬場 浩輔		
12	教職員課長	福地 昌平		
13	学校教育課長	松尾 敏実		
14	保健体育室長	三上 智一		
15	教育支援課長	源五郎丸 靖		
16	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章		
17	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	庵木高等学校教諭	藤田 務		
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	高山 裕樹		